

平成29年度 事業評価〈館〉シート

○巻地区公民館
(峰岡公民館・漆山公民館含む)

○岩室地区公民館

○西川地区公民館

○湯東地区公民館

○中之口地区公民館

※評価シート中、「重点名」は資料2（平成29年度事業報告）中の「重点課題」と対応しています。

平成29年度事業評価シート(巻地区公民館)

総事業数(41) 1. コミュニティ(3) 2. 学社民(9) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(3) 6. 現代的課題(0) 7. その他(20)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	3事業 コミュニティコーディネーター養成講座、他				9事業 さき織り体験教室、昔と今の遊び体験教室				3事業 幼児期家庭教育学級、西蒲区保育者交				3事業 青少年健全育成講演会、他							
ねらい	地域住民が主体となり地域の課題を把握し解決方法を探ることができるよう、地域コミ協等をはじめとする地域団体と連携・協力しながら、課題解決を担う地域の人材の発掘及び育成をはかる。				こどもたちが活動や体験を通して小学校間及び地域住民との交流や親睦を深める。				家庭教育の充実や子育ての知識や情報を提供するとともに、親同士の仲間づくりを進め、子育ての不安や悩みの軽減を図る。				様々な体験活動や交流活動を通し、子供たちの社会的成長を支援するとともに、健全育成を目指す。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数							
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	地域課題を把握でき満足度は高い。	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	次回も参加したいという声多数。	受講者の満足度(平均値)	80%	83%	アンケート結果による	受講者の満足度(平均値)	80%	80%	ほとんどの参加者が満足したと回答があった。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	88%	次年度の実践課程でCC候補生の呼び込みが検討課題。	受講者の気づき(平均値)	80%	84%	楽しかった、面白かった、という声多数。	受講者の気づき(平均値)	80%	86%	アンケート結果による	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	世界観が変わったとの声があった。				
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			「夏チャレンジメニュー」9事業を夏休み期間中に実施。	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	具体的な企画立案につながった。			必要性(平均値)	4	他校の子供との交流の場となっている。			必要性(平均値)	4	参加者の交流の場として役立つ。			必要性(平均値)	3	これらの事業は日常を離れ異体験をすることで成長につながる。		
	有効性(平均値)	4	区の地域課と連携し類似事業を統合して行った。			有効性(平均値)	4	参加者の満足度は高く来年も継続希望が多い。			有効性(平均値)	3.3	一時保育付きで参加者が落ち着いて受講できる。			有効性(平均値)	4	それぞれの事業の満足度は高い。		
	効率性(平均値)	4	区の地域課との共催で予算をかせずに運営できた。			効率性(平均値)	4	地域ボランティアなどと協力し公費を抑えて実施できた。			効率性(平均値)	4	保育にかかる経費が大半でそのほかは効率的に運営している。			効率性(平均値)	4	育成協と連携することで経費を抑えることができた。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	今回の参加者がチームを組み、次年度においては企画立案の実践を行なえるよう準備を進めている。公民館としては参加者が主体的に取り組むようにバックアップを行う。				絞り込んだ事業となり参加者の満足度は高かった。マンネリ化しないよう講座の内容を検討し企画立案に心掛ける。				今年度は、親子関係をテーマに学習を行った。今後は座学だけでなく親同士の会話が弾むようグループでの講座開催も検討したい。				今年度の講演では、世界で広く活躍されている講師を迎え、参加者の世界観が変わった。今後も色々な講師選定を行い幅の広い講演題材を実施するよう心掛けた。							
	館長評価	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
	3				9				3				3							
評価区分	<コメント> 地域の課題に取り組むことが目的の公民館にとっては大事な事業である。今年度は地域活動見本市で活動成果を発表するなど次年度につなぐ成果を上げた。				<コメント> 地域教育コーディネーターの協力により、多様な事業が行えた。ボランティアの講師を迎えるなど極力コスト面を抑え事業を実施した。学校を主会場とし様々な体験を通じ参加者同士の交流市民と触れ合うことで、学社民の連携、協力の成果が得られた。				<コメント> 参加者の仲間づくりの機会や育児に関する情報交換の場として講座内容を工夫して継続実施したい。				<コメント> 講演では世界の情勢を聞くことにより、参加した中学生は日本の現在の情勢がどれだけ良いか知ることができた。国内だけではなく国外にも目を向けられる人材育成が図られた。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止										

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3事業 巻地区長寿大学、峰岡地区長寿大学、漆				事業			
ねらい	孤立になりがちな高齢者の積極的な社会参加を支援し、充実した生活を送るための学習機会を提供する。							
成果	目標値	結果	コメント	目標値				
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	80%	参加を楽しみにしている受講者が多い。	受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気付き(平均値)	80%	80%	多様な事業に参加し見聞が広がったとの声多数	受講者の気付き(平均値)	80%		
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			
評点	評点	コメント		評点	コメント			
	必要性(平均値)	3.3	老人クラブ等を通じて募集し参加者相互の親睦・絆づくりと	必要性(平均値)				
	有効性(平均値)	3.3	参加者が楽しみながら学習できる講座実施を心掛けた。	有効性(平均値)				
	効率性(平均値)	4	野外研修は、参加者負担金を軽減するよう心掛けた。	効率性(平均値)				
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	今後は参加費用の徴収を行わなければ野外研修は行えない。予算削減の中限られた予算内で工夫をして、高齢者の興味や楽手ニーズに合わせた事業を行い、高齢者相互の交流や親睦を図りたい。							
館長評価	A	B	C	D				
		3						
	<コメント> 公民館として、広く市民の学習意欲や学習機会を増やし提供できるよう現在のニーズや地域課題の把握に努めて継続実施したい。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 いきいきセミナー				3事業 発達障がい「自分らしく生きる」他			
ねらい	高齢者の生きがいづくりや健康づくり、仲間づくり、地域活動への参加支援などにより、新たな地域活動の担い手育成を図る。				高齢化や少子化、情報化、人権問題など、現代社会における様々な課題について学習を深め、課題解決を支援する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数	1	1	長年継続してきた「男の料理教室」が自主活動することになった
	企画委員希望者数		0		企画委員希望者数		0	
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	高齢者に関心が高い内容であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	発達障がい関係の講座は満足度が高く、継続希望者も多い
	受講者の気づき(平均値)	80%	95%	高齢者に関心が高い内容であった。	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	「男の料理教室」のアンケート結果
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			発達障がい「しゃべり場」のスタッフが発達障がい「自分らしく生きる」の企画運営にかかわった	
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の生きがいづくりや仲間づくりのきっかけとなった		必要性(平均値)	4	発達障がい「しゃべり場」の参加者の居場所になっている。	
	有効性(平均値)	4	3つの分野で、好きな講座を選べるので満足度は高かった。		有効性(平均値)	4	西蒲区外からの参加者、リピーターも多い。	
	効率性(平均値)	4	市の職員や無料講師を活用し経費削減を図った。		効率性(平均値)	4	講師は市の職員を活用し、経費削減を図った。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の関心が高い健康づくりや介護予防、認知症などをテーマに、仲間づくりや生きがいづくりができる内容を取り入れる。				長年継続してきた「男の料理教室」が、ようやくサークルとなった。今年度、家庭教育から移行した発達障がいの「しゃべり場」は少しずつではあるが参加者が増えてきている。当事者やその家族、一般の人がグループになって日頃の悩みや不安などを話せる居場所となっている。今後は、サークル化をめざす。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		1
評価区分	<コメント> 3回の連続講座ではあるが、選択性であるため仲間づくりに結びつかない。超高齢化社会において健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を企画したい。				<コメント> 「しゃべり場」はリピーターも多く、西蒲区外からの参加者も多く、その必要性は認識している。今後は自主活動ができるよう支援していきたい。			
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(西川地区公民館)

総事業数(16)

1. コミュニティ(3) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(4) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(2) 7. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	3事業			地域コミュニティ団体育成講座、音楽と芸術に親しむ集い、傘ぼこ茶会	3事業			キッズ倶楽部、夏休みキッズ倶楽部、おはよう朝ごはん	3事業			幼児期家庭教育学級、ゆりかご学級ほか	2事業			わくわくカレッジ、やみつきウォーキング				
ねらい	地域イベントボランティアや自主活動団体と協力することで地域コミュニティの活性化を目指す。また市民と公民館が協働で事業実施を行う。				小学生の土曜日の居場所つくりで地域の方々を講師に迎え、様々な体験活動を開催する。また、中学生が講師となり運営をすることにより、地域活動への参加につなげる。				子育て期の保護者を対象に子育てに関する学習機会の提供や親同士の仲間づくりを推進する。				集団での体験活動を通じて達成する喜びや相手を思いやる心を育成する。併せて、活動をサポートする地域ボランティアの育成も行う。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0					
	企画委員希望者数	/	3		企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	1		企画委員希望者数	/						
	受講者の満足度(平均値)	80%	89%	コンサートの感想も含む	受講者の満足度(平均値)	80%	100%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%	わくわくカレッジ				
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	95%		受講者の気づき(平均値)	80%	84%		受講者の気づき(平均値)	80%						
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.3	公民館事業の企画・運営を行う上で人材育成は必要である。			必要性(平均値)	3.5	土曜日の子どもの居場所として定着している。			必要性(平均値)	3.6	申込者数から継続が必要と思う。また参加者の満足度は高。			必要性(平均値)	3.5	体験活動の機会となる。		
	有効性(平均値)	4	地域の人材を活用することができた。			有効性(平均値)	3.5				有効性(平均値)	4	企画委員が内容を考え参加者目線に立った講座となった。			有効性(平均値)	4	学校・育成協・公民館と連携して行っている。		
	効率性(平均値)	4	ボランティアスタッフ、企画委員と役割分担を行い効率的に進められた。			効率性(平均値)	3.5	中学生や地域住民を講師として招いている。			効率性(平均値)	4				効率性(平均値)	4			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域コミュニティの活性化には、地域イベントボランティア、自主活動団体の完全自主活動化が必要である。ボランティアの層を拡げ、団体を活用していく。				小学生のニーズを把握し、学校では体験できないさまざまな講座を開催していきたい。				保育室を安全に運営するために保育児数に制限があり、保護者の参加を増やすことが難しい。また常設の保育室ではないため、設営に工夫・改善が必要である。				やみつきウォーキングについては育成協議会のイベントとして開催しているが、事前準備・協力者の確保等のやりくりで事務局の労力が大きいため、今後の体制づくりの改善が必要である。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		3				3				3				2						
評価区分	<コメント>コンサート活動などをささえている地域ボランティアや企画に参加してしているボランティアの協力により事業を遂行できた。ボランティアが減ってきているため、その発掘を地域とともに進めていく必要がある。				<コメント>おはよう朝ごはんは地域コミュニティ協議会・学校・公民館と連携して開催する貴重な事業で継続が望ましいと考える。またキッズ倶楽部は地域の子どもの居場所として定着している。				<コメント>子育て中の保護者同士の交流の場となり、また育児の悩みを参加者同士で解決するきっかけとなっている。参加者からの満足度は高く、継続の必要性を感じる。				<コメント>イベント自体は好評であるが、運営を自主的に行えるよう事務局の体制づくりの改善が必要である。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止																

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業 シニアチャレンジ、自宅で楽しむお茶講座				2事業 地域の歴史と文化財講座、楽学ガレッジ			
ねらい	高齢者の自立、生きがいを見出し、交流の場を作る。				さまざまな学びから人とのつながりや地域とのつながりを見出す。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	0	1		サークル結成数	0	0	
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	3	
	受講者の満足度(平均値)	80%	90%		受講者の満足度(平均値)	80%	96%	
	受講者の気付き(平均値)	80%			受講者の気付き(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	高齢者の生きがいづくりのために必要。		必要性(平均値)	3.5	地域の歴史文化財を知る内容であった。	
	有効性(平均値)	2.5	公民館備品(陶芸窯)を有効に活用することができた。		有効性(平均値)	3.5		
	効率性(平均値)	4			効率性(平均値)	3.5		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	シニアチャレンジ(陶芸)は公民館の備品を有効活用でき、最終的には定期利用団体化ができた。自宅で楽しむお茶講座はサークル設立には至らなかった。				地域行事、企画委員、講師の予定を調整した結果、開催時期が寒い時期になった。時期については現地見学等の観点から秋期がよいと思われる。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1		1		2		
	<コメント>公民館備品を有効に活用し、陶芸サークル設立することができた。今後のサークル継続に期待したい。				<コメント>地域の歴史と文化を知る機会として有効な事業である。今後、事業を継続的に実施するうえで参加者から講座内容や開催時期についてアンケートをとるなど参加意欲を高める取り組みをしたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(潟東地区公民館)

総事業数(21)

1. コミュニティ(1) 2. 学社民(1) 3. 家庭教育(1) 4. 青少年(12) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(3) ※コミ関連()

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1 事業 まちのおおガイド育成事業				1 事業 夏休みパソコン教室				1 事業 おはよう朝ごはん料理講習会				12 事業 土曜日居場所づくり事業(わくドキ等)							
ねらい	潟東地域にボランティアガイド育成講座として数年前から行っている事業で、ここ数年は各地域で活躍しているガイドの視察を行っている。より実践的なガイドを見て聞きながら、地元ガイドへの意識向上に繋がる様になっている。				学校と連携して、夏休みに学校の特別教室を利用し、地域教育コーディネーター及び教員の協力でパソコン教室を開催。学社民の融合事業として位置づけている。				子どもたちの健やかな成長を育むため、簡単レシピで調理実習を行い、「食」の大切さを伝える。				土曜日の子ども居場所づくり事業で、わくわくドキクラブをメインに9事業を開催。5月から3月までの期間での延べ参加者は700人を越える。地域に根付いた事業でもあり、潟東地域の子どものは誰でも知っている事業である。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	有	1	有志等の集まり	サークル結成数	#REF!	0		サークル結成数	無	-		サークル結成数	0	-					
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-					
	受講者の満足度(平均値)	80%	95	実践したガイドを視察し充実していた。	受講者の満足度(平均値)	80%	100	参加者から大変好評を得た。また、教員からも次回もとの声を頂く。	受講者の満足度(平均値)	80%	100	定員以下の参加申込があり、興味をもつ保護者への周知等を強化したい。	受講者の満足度(平均値)	80%	100					
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	-		受講者の気づき(平均値)	80%	-		受講者の気づき(平均値)	80%	-					
その他成果(品)及びその活用等	/		実際のボランティアガイド活動を視察しながら、潟東での実践に備えなければいけないという意識が高まる。	その他成果(品)及びその活用等	/	-	学校の特別教室ということもあり、参加児童も気楽に学ぶことができた。学校側からも夏休みの教室解放にも賛同の声があった。	その他成果(品)及びその活用等	/	-	講習で習った料理が家族に講評だったという声が聞けた。	その他成果(品)及びその活用等	/	-	15年近くになるわくドキクラブへの認識度が年々高まっている。					
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3	地元ボランティア育成に必要である。			必要性(平均値)	3	学社民の観点からも必要性のある事業である。			必要性(平均値)	4	コミ協主催事業として必要である。			必要性(平均値)	3	地域ボランティア等の協力体制が整っていることから、児童の要望も熱い。		
	有効性(平均値)	3	樋口危険美術館及び資料館での活動が期待される。			有効性(平均値)	4	学校施設を利用するのが児童であることから、教員からも理解を得れる。			有効性(平均値)	4	会長にも参加していただき、コミ協への事業意識が高まった。			有効性(平均値)	3	受講生に対して昨年度から整理整頓等を行うようにさせたことから、自ら片付ける意識が高まった。		
	効率性(平均値)	3	団体で訪れるお客等への対応に効果が期待される。			効率性(平均値)	4	必要な機材等が全て学校で賄うことが可能である。			効率性(平均値)	4				効率性(平均値)	4	公民館予算を一切使わない大変貴重な事業である。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	潟東地域には「潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館」が設置されているが、スタッフ等の不足からボランティアガイドの養成が急務だが、高齢者の参加希望者が多く学習には参加するが「ガイド」までには至っていない。より実践的な講座開催が必要。				夏休みの学校を活用し、パソコンを使った「団扇」づくりに挑戦した。応募者を上回る子どもたちから参加いただいた。小学生を対象としたため学年差があり、対象学年を絞った方が良いか検討していきたい。				平成29年度17人の参加があったが、もっと多くの家庭から関心を持っていただくよう広報に努めたい。				参加者が少ないクラブもあるため、クラブの周知を30年度から学校に掲示することとする。また、講師の協力を得て夏休みに開催していない期間にクラブの周知を行う。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		1				1					1				1					
評価区分	<コメント> 樋口記念美術館・民俗資料館ともに専任職員の配置のない館で、ボランティアガイド養成が急務であるが、残念ながら受講者が学習の域を出していない。新たに「ボランティアガイド」が誕生していない。継続的な講座開催が必要である。				<コメント> 小学生対象としたため、低学年、高学年との年齢(学年)差があったため、制作時間等に違いがあったが、早く終わった児童が手伝ったりと結果的には和気藹々とした雰囲気のおかげで終了した。				<コメント> 「朝ごはんレシピ集」を使い親子で調理実習の実践をとおし朝ごはんの大切さなどを知ってもらうため、潟東地域コミュニティ協議会等と協働で事業を実施している。必要性の高い事業だと考えます。				<コメント> 子どもたちにとって、物づくりの楽しさや難しさを学ぶ貴重な体験機会となっている。出来上がった作品を文化祭等に展示したり友だちへ年賀状を送っている。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2 事業 青空学級 ゲートボール大会				1 事業 スポーツ教室等			
ねらい	高齢者の自立支援と生き甲斐づくりを重点に、年間を通じた事業の展開を図ると共に、生涯スポーツとして年1回の公民館長杯のゲートボール大会を開催し親睦を深める。				地域の健康づくりから、コミ協とスポーツ振興会等と連携し、親子から高齢者までが一緒になって楽しめる各種大会やイベントを開催する。異世代交流を深めながら健康づくりをすすめる。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	7	GB連盟数。	サークル結成数	有	50	スポ振理事数。
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	95	青空学級受講者及びゲートボール大会参加者。	受講者の満足度(平均値)	80%	100	各イベント等参加者から講評を得ている。
	受講者の気づき(平均値)	80%	-		受講者の気づき(平均値)	80%	-	
その他成果(品)及びその活用等			普段何もしない高齢者が、自主的に参加する様になった。	その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	潟東地区は特に少子高齢化が進んでおり、高齢者向け講座の必要性が高い。		必要性(平均値)	3	地域健康づくりから必要性は高い。	
	有効性(平均値)	4	リピーターの要望が大きい。		有効性(平均値)	3	スポーツ推進委員等の協力体制が整っている。	
	効率性(平均値)	4			効率性(平均値)	4	概ね適当と考える。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	30年度からは参加募集人数を増やし、広報活動を充実させていながら、固定した参加者だけでなく新規の参加者の獲得を検討していく。				全体的な参加者数は例年並みとなっている。それぞれの事業にも後継者問題もあり人数的に減少傾向な事業もあることから、事業縮小も検討しながら見直しも必要である。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				1		
	<コメント> 長寿社会を健康で如何に楽しく過ごすかなど、講座を通してヒントにいただけるような企画を念頭に実施している。必要性の高い事業である。				<コメント> 健康づくりのためのスポーツ教室は、参加者は安定した人数であるが、スポーツ振興会の予算が31年度で極端に下がる予定であるため開催が難しくなる。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(中之口地区公民館)

総事業数(24)

1. コミュニティ(1) 2. 学社民(4) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(0) 7. その他(7)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1事業 「中之口を知らう~楽しく・ニコニコ~」				4事業 夏休み子ども陶芸教室 他				4事業 子どもの広場, 親子料理教室 他				7事業 青少年宿泊体験事業, 子ども書道教室, もちつき体験, 他							
ねらい	地域コミュニティ協議会等の地域団体と連携・協力しながら, 課題解決を担う地域の人材発掘及び育成を図るとともに, 地域コミュニティ活動の活性化を促進・支援する。				子ども達の活動や体験を通じて, 学校や地域住民との交流と親睦を深め, 地域づくりを推進する。				子育てに関する学習機会の提供や親同士の仲間づくりを推進する子育て支援事業の実施や, 生涯各期の成長段階に応じた家庭教育学級など家庭の教育力の向上を図る。				青少年の健やかな発達のために, 様々な体験活動や交流活動を通し, 地域や青少年育成協議会と連携しながら青少年の健全育成に努める。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数				サークル結成数	0	0					
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	0					
	受講者の満足度(平均値)	80%	92.1	「中之口を知らう~楽しく・ニコニコ~」アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%	100	「親子で陶芸教室」アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%	100	「子どもの広場」アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%	100	「公民館へ泊まろう」アンケート結果				
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%						
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	伝統的な文化の継承、地域の絆づくりなど必要性はある。			必要性(平均値)	4	地域活動、地域づくりを推進する事業として必要性はある。			必要性(平均値)	4	子育ての情報や保護者同士の交流の場として役立っている。			必要性(平均値)	4	子どもの様々な体験活動の場としての必要性はある。		
	有効性(平均値)	4	地域の問題解決を担う人材の発掘、育成として適当であった。			有効性(平均値)	4	学校との連携、周知をはかりながら進めるので有効である。			有効性(平均値)	4	満足度は高く、有効性はある。			有効性(平均値)	4	育成協議会、地域、関係団体との連携と協力によりスムーズに運営できた。		
	効率性(平均値)	4	地域人材やボランティア団体の活用により経費削減となった。			効率性(平均値)	3				効率性(平均値)	4				効率性(平均値)	4	参加者の実費負担については、カメラ講座の材料費のみ。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域の活性化を促進・支援する事業として作年度実施した事業を見直し実施。「講座型」の内容であり、今後の公民館事業の参考となるものとして評価できる。企画実施案の取組がおそくなり、地域への周知期間が短かくPR不足も考えられ、今後は早く取組む必要がある。				他に、「小中学校出前講座」「新春書き初め大会」「新春大いに夢語り会」の事業があり、学・社・民の融合事業として中之口地区に定着している。参加者の満足度は高いが、各事業の検証を行い内容の充実を図る必要がある。				「子どもの広場」事業年間3回(100人)、親子料理教室1回(17人)とも満足度の高い事業であるが、参加者は予定の約70%弱にとどまった。周知方法を工夫するなどし、地域住民に意識づけできるよう参加者数の増加に努めたい。				事業の殆どは、青少年育成協や地域子ども会の主催事業であり、唯一青少年宿泊体験「公民館へ泊まろう」事業が公民館主催事業である。公民館に宿泊し、自立性と協調性を身に着ける目的で実施した。育成協との連携・協力がうまく行き参加者の満足度も高かったが、公民館に宿泊することについては、施設利用規定、安全確保の面から廃止し、日帰りの講座で研修を取り入れる。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		1				4					4				7					
	<コメント> 同一日に4つの講座(地域出身の偉人に因んだ菓子作り、紙芝居と紙折撲、切り絵、笑いヨガ講座)で、いずれも地域で活躍するボランティアのパワーと技量が発揮され、参加した者にとっては満足度の行く有意義な講座となった。				<コメント> 当地域で根付いている「書道」に着目した伝統講座と、一方でそれとは対照的な「こども陶芸」として奇抜な「もの作り」、釉薬の色合いから斬新的な創作力を学ぶ講座を実施した。地域教育の推進として、子どもたちが公民館講座に参加する意欲を駆り立てる意味で意義は大きい。				<コメント> かつて隣近所の交流が盛んな頃の農村地域とは異なり、一地域に数軒しかない子育て年代の親子が参加して、子ども同士の遊びや子育て、教育の話し合いのできる講座・教室の意義は大きく、地域のまとまりや、今後の入園、就学以降の交流のきっかけづくりに貢献している。				<コメント> 公民館宿泊体験事業は、近年十数名の参加と少なく、施設利用規定も統一・整備され、安全面からH30より廃止。今後は一日開催、芸術体験と青少年課題を話し合う研修を開催する。一方、当地域に根強く伝わる、地域の名所、偉人に関係するふるさとかるた大会等の意義は大きい。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 中之口大学リニューアル事業				事業			
ねらい	高齢者の仲間づくり、自立と生きがいを見出し、充実した生活を送るための学習機会を提供する。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	0	0		サークル結成数			
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の仲間作りや生きがい作りのきっかけとなる。		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	4	野外視察を通じて、研修を楽しみながら実施できる。		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	3	視察研修のため、自己負担も含めコストが高くなる。		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	コミュニティ協議会の主催事業として、公民館が運営協力しここ数年視察研修として実施している。参加者は、視察研修に期待を寄せているが、メンバー的には固定化しつつある。改めて高齢者のニーズを把握し、講座の開催等も検討しより多くの方からの参加を募る必要がある。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
			1					
	<コメント> コミ協主催事業だが、これまでの経緯から当館が主力的に協力をしている。当事業の行政の補助事業の位置づけからすれば主催側の自主性の発揮が期待され、視察先が周辺地域に限定されることや、参加者も固定化しているため新たな事業に転換することが望ましい。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止